ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」
国指定重要無形民俗文化財

HIDA CITY 飛騨市

古川祭「起し太鼓」

平成31年4月19日（金）起し太鼓主事　朱雀組

起し太鼓は、19日夜から夜遅くにかけて行われる勇壮な神事である。神事を取り仕切る主事が、町内の氏子たちに氏神（神奥行列）を迎える準備をさせるため、太鼓などを叩きながら町内を起して廻ったことが起し太鼓の始まりとされている。そのため、過去に「目覚まし太鼓」と呼ばれたこともあった。百を超える丸小提灯、高張提灯や旗に先導され、数百人のさらし姿の裸男たちが担ぐ櫓が、直径80cmの大太鼓を乗せ町内を巡行する。大太鼓に跨がった二人の若者が、ばちを振り下ろして深い音を響かせる。町の辻々では「付け太鼓」と呼ばれる小太鼓を持った若者集団が待ち構え、大太鼓の櫓に突っ込む。「付け太鼓」を櫓の直後に付けることが最大の名誉であり、町内に12ある各組が知恵をしぼり、力を合わせ我先に付けようと他組と激しく争う。起し太鼓には、櫓を守る「後衛」と呼ばれる屈強な男たちがおり、「付け太鼓」を阻止しようとする。「付け太鼓」と「付け太鼓」、「付け太鼓」と「後衛」の三つ巴の攻防戦が繰り広げられる。「古川やんちゃ」とは、一つの物事に対して団結してひたむきに立ち向かう古川人の気質を表した言葉であり、起し太鼓こそ「古川やんちゃ」の本領が発揮される場といえる。起し太鼓をめぐる激しい攻防は夜遅くまで及ぶ。

古川祭19日「起し太鼓」のご案内

起し太鼓進行予定

出	19日	まつり広場	20:00 出立祭 20:30 打ち出し	
休憩1		朱雀会館前	21:00着	21:20発
休憩2		井之廣製薬舗前	21:50着	22:10発
休憩3		大横丁公園	22:40着	23:00発
終		まつり広場	23:30着	終了予定

ご見学される際のお願い

- ○ 観光客の方は、起し太鼓には参加できません。
- ○ 起し太鼓や付け太鼓の見学などでケガをされても責任は負えませんので、ご了承ください。
- ○ 進行時間は遅れることもあります。
- ○ 大変な混雑が予想されます。スリや置き引きに十分ご注意ください。
- ○ 路上駐車は、厳禁です。

車両通行規制日時・進入路

- 19日(金)12:00～20日(土)21:00
- 19日(金)20:30～23:30
- 19日(金)20:30～22:00
- 19日(金)21:30～22:30
- 自家用車進入路
- 観光バス進入路

臨時駐車場のご案内・お願い

- ○ **右記案内図の駐車場に記載してある駐車可能時間を厳守してください。(記載時間外は閉鎖となります)**
- ○ 町内の主要道路に駐車場までの誘導看板を設置しております。これに従いお越しください。
- ○ 駐車場係員の指示に従ってください。満車の場合、別の駐車場をご案内しますが、祭り会場から遠くなります。予めご了承ください。
- ○ 駐車場での事故、トラブル等一切責任を負いませんので、予めご了承願います。

- P 若宮駐車場
- P1 古川小学校臨時駐車場
- P2 アルプス薬品臨時駐車場
- P3 トレーニングセンター駐車場
- P4 古川中学校臨時駐車場
- バス P 市役所バス駐車場

4/19（金）起し太鼓進行順路・車両通行規制案内図

天下の奇祭！ 日本三大裸祭り。

ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」・国指定重要無形民俗文化財

起し太鼓

裸男たちがぶつかり合う、激しく勇ましい夜。

4月19日、夜。
数百人の裸男たちによる
祝い唄の唱和で幕を開ける起し太鼓。
大太鼓が動き出すと、それを追って
各組の付け太鼓が勇ましく突き進んでいきます。
この攻防戦は夜遅くまで続きます。

起し太鼓の先頭集団は、女性も子どもも一緒になって練り歩く提灯行列。

打ち出しの会場となるまつり広場では、出立祭の前に、各組の若者が付け太鼓を使い様々な技で度胸を試し合います。

「付け太鼓」と呼ばれる小太鼓を大太鼓の櫓に最も近い位置につけて進むのが名誉とされ、激しい先頭争いが繰り広げられます。

太鼓上に乗る「太鼓打ち」は一生に一度あるかないかの名誉なこと。地域に貢献した者から選ばれます。
太鼓のバチは、柳の生木を自分で切り削って作ります。

起し太鼓の起源

神輿（氏神様）をお迎えできるように屋台飾りなど祭りの準備を始める合図として、太鼓をたたき町内の氏子の眠りを覚まして廻ったことによると言われています。

御神輿行列

神の降臨する日　厳かなる感動と興奮。

総勢350余名におよぶ御神輿行列。
闘鶏楽、警固など伝統の衣装をまとった氏子たちが町を練り歩きます。行列は19日気多若宮神社を出て町を一巡。お旅所で神輿はお泊まりになり、20日お旅所を出て町内を巡行して神社へ帰ります。雅楽や獅子舞なども見どころです。

御神輿が巡幸される道は塩で浄められます。

町内33ヶ所で祝詞奉上が行われます。

町内を巡幸した御神輿はお旅所でお泊まりになります。

御神輿には獅子や闘鶏楽、大太神楽雅楽、舞姫、袴姿の警固など時代装束をまとった行列が気多若宮神社を出立します。

各台組地域内に当番会所を設け神酒、供物をお供えして御神体を迎え入れます。

当番会所